K's NEWS
KANSAI HOKURIKU BLOCK in AREA ×3

印刷して学生みなさんでお読みください！

全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：白﨑優奈
協力：神戸大学生協
発行日：2023年5月21日
第222号

神戸大学生協
プレ総代会

[組合員交流]

取り組み概要

日時：5/18 17:30～21:00
場所：神戸大学生協食堂
（LANS HALAL Vege Dining）
組合員の反応：総代と組合員が活発に意見交流をし、生協への要望が多数寄せられていた。

背景や概要：神戸大学生協の総代会は、複数キャンパスを持つことと学生の授業時間を考慮し、書面議決で開催される。しかし、それでは総代・組合員の生の声を聞くことが十分にできない。そこでプレ総代会を対面で開催し、総代会のハードルを下げ、生協への意見を引き出せる場として位置づけている。

総代会のハードルを下げ、活発な意見交流を

POINT.1 意見を出しやすい雰囲気づくり

意見交流の前に、アイスブレイクをしていました。ゲームは発言が必須であるものが選ばれており、後半の意見交流に向けて緊張をほぐし、各班で発言がしやすい雰囲気をつくることができていました。
また夕食を、生協の食堂で班ごとにとっていました。これは、総代・組合員同士が交流する機会となっていました。
アイスブレイク・夕食の交流を通し、穏やかな時間が流れており、総代会や意見出しへのハードルを下げることができていました。

POINT.2 生協の仕組みやサービス・現状について

意見交流への導入として、生協に関する説明がありました。運営の仕組みやサービスの紹介があり、「大学生協はどういう想いで何をしている組織なのか」ということを、参加者に再認識させることができていました。
また、専務からプレ総代会への想いと声をあげ運営に参加することの必要性を伝える時間もありました。総代会以降も継続して声を届けていってほしいです。

POINT.3 意見交流会

意見交流会では、「生協アプリについて」「生協の利用者を増やすには」の2つの議題を話し合っていました。
生協アプリについてでは、便利な点と改善すべき点について交流していました。今後、アプリ運用会社に向けて改善要望を届けることも検討するとのことです。
また、生協の利用者を増やす案を出す議題では、生協の抱える課題を解決するアイデアが、多数提案されていました。
どちらの議題も、日頃利用しているからこその視点で意見交流がされており、組合員の運営参加を実現させることができていました。

つながる元気、ときめきキャンパス。
univ. CO-OP
17 パートナーシップで目標を達成しよう
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [白﨑 優奈]
Shirasaki.Yuna@univ.coop